

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)中央林間計画 1工区 駐車場棟 新築工事	階数	地上2F
建設地	神奈川県大和市下鶴間1612番1外	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2016年12月26日
敷地面積	4,880 m ²	作成者	株式会社長谷エコーホレーション
建築面積	2,166 m ²	確認日	2016年12月26日
延床面積	4,310 m ²	確認者	株式会社長谷エコーホレーション



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.4

Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0

音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気質環境	N.A.

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8

機能性	N.A.
耐用性・信頼性	2.8
対応性・更新性	2.7

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.1

生物環境	2.0
まちなみ・景観	2.0
地域性・アメニティ	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.6

LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.0

建物外皮の熱負荷	N.A.
自然エネルギー	N.A.
設備システム効率化	N.A.
効率的運用	2.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

水資源	3.0
非再生材料の使用削減	2.6
汚染物質回避	4.4

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

地球温暖化への配慮	N.A.
地域環境への配慮	3.2
周辺環境への配慮	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
・接道沿いに植栽を行い周辺環境に配慮している。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 ・建築基準法に定められた耐震性を有する。	Q3 室外環境(敷地内) ・植栽により良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー ・運用管理の組織、体制、管理方針が計画されている。	LR2 資源・マテリアル ・躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。	LR3 敷地外環境 ・適切な量の駐車スペースの確保をしている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される